都市デザイン工学科 ディプロマ・ポリシー

都市デザイン工学科では、工学部ディプロマ・ポリシーに基づき、専門学術の基礎と実践力を継承できるよう、学科として下記に掲げる能力を備えていると判断できる学生に対して卒業を認定する。

(A)総合的な視点からの基礎学力を習得し、広い視野と確かな判断力を身に付ける。〔基礎学力・判断力〕
(B)科学技術の社会的貢献と地球環境への影響を自覚し、自己実現と自己責任の意識を持った自立できる技術者としての素養を身に付ける。〔技術者倫理〕
(C)数学、物理学、化学、地学、生物学などの自然科学および情報の基礎的学問を身に付ける。〔自然科学・情報処理〕
(D)都市デザイン工学科の専門領域(共通領域、デザイン・計画領域、構造領域、コンクリート・材料領域、地盤領域、河川・海岸領域)の内容を修得し、社会基盤の整備や都市環境の創造と保全に関する専門知識と技術を身に付ける。〔専門知識・技術〕
(E)協調性、指導力、計画的に作業を実施する素養を養うとともに、観察力、理解力、考察力、説明能力を身に付ける。〔実践力〕
(F)専門的な知識や技術を多角的・総合的に用いて社会が要求する問題を把握・整理し、解決するデザイン能力ならびにプレゼンテーション能力を身に付ける。〔問題解決・プレゼンテーション能力〕
(G)社会人として基本的なコミュニケーション能力を身に付ける。〔コミュニケーション能力〕
(H)グローバル化時代に対応できる国際感覚・国際性を身に付ける。〔国際性〕
(I)社会要請の変化に対応して、生涯学び続ける姿勢・自己学習の習慣および問題を解決する能力を身に付ける。〔生涯自己学習〕